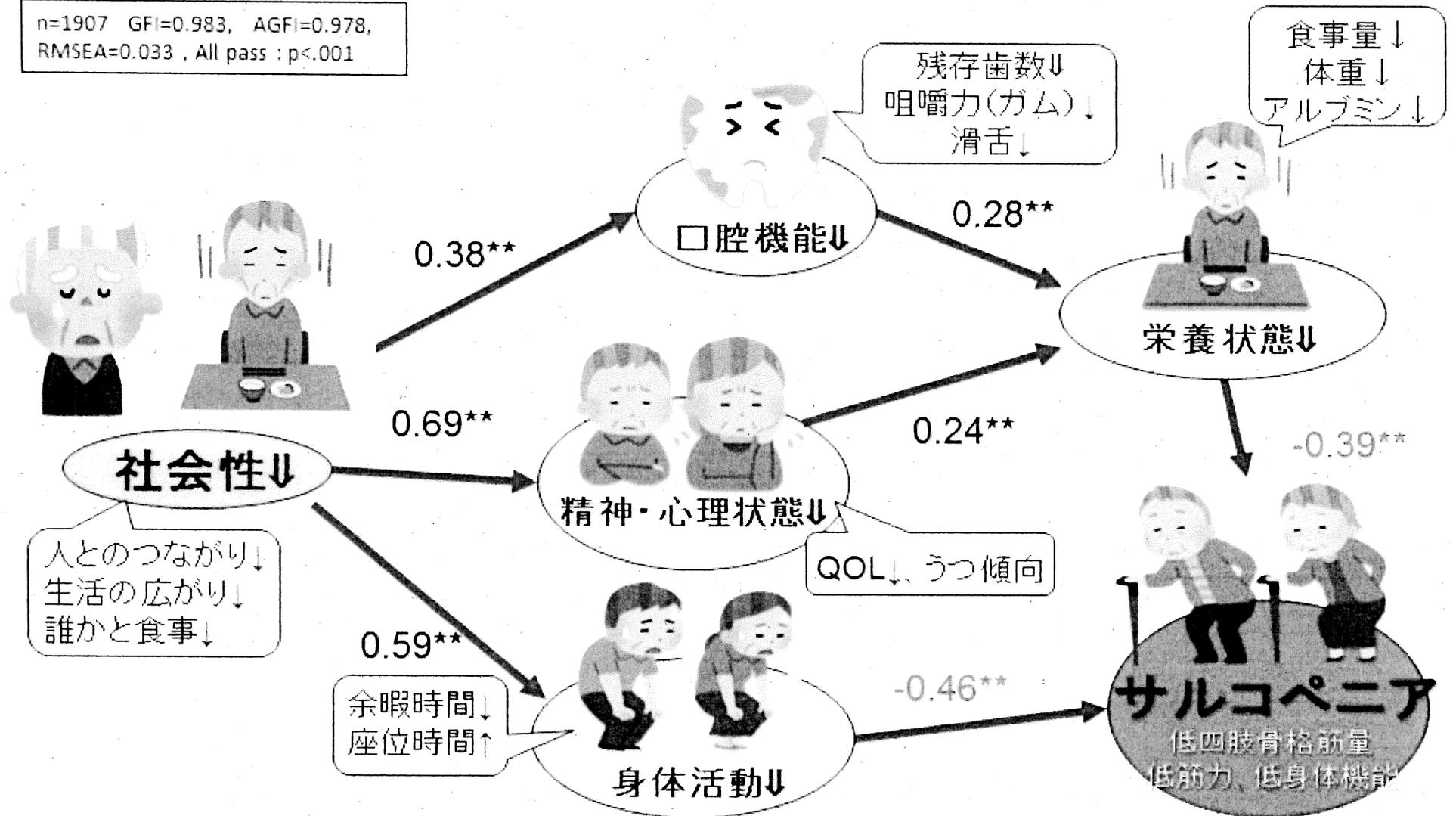


# 我々はなぜサルコペニアになるのか？

## 《社会性の欠如・低下から始まりやすい》

n=1907 GFI=0.983, AGFI=0.978,  
RMSEA=0.033, All pass : p<.001



東京大学 高齢社会総合研究機構・飯島勝矢ら  
厚生労働科学研究費補助金(長寿科学総合研究事業)「虚弱・サルコペニアモデルを踏まえた高齢者食生活支援の枠組みと  
包括的介護予防プログラムの考案および検証を目的とした調査研究」(H26年度報告書より)

# 健康長寿のための『3つの柱』

より早期からのサルコペニア予防・フレイル(虚弱)予防

**栄養**  
食・口腔機能

- ①食事(タンパク質、そしてバランス)
- ②歯科口腔の定期的な管理

**身体活動**  
運動、社会活動  
など

- ①たっぷり歩こう
- ②ちょっと頑張って筋トレ

**社会参加**  
就労、余暇活動  
、ボランティア

- ①お友達と一緒にご飯を
- ②前向きに社会参加を

## 地域包括支援センターの機能強化へ向けた方向性

地域包括支援センターは、行政直営型、委託型にかかわらず、行政(市町村)機能の一部として地域の最前線に立ち、地域包括ケアシステムにおける中核的な機関として期待されることから、現状の課題や今後求められる役割を勘案しながら、複合的に機能強化を図ることが重要。

### ( 方 向 性 )

人員体制

業務量に応じた配置

- 高齢化の進展、それに伴う相談件数の増加等を勘案し、センターに対する人員体制を業務量に応じて適切に配置。
- さらに、今後、現在の業務に加え、地域ケア会議の推進、在宅医療・介護の連携強化、認知症施策の推進を図る中で、それぞれのセンターの役割に応じた人員体制の強化を図ることが必要。



業務内容の見直し

センター間の役割分担・連携強化

- 在宅医療・介護の連携強化、地域ケア会議、認知症施策の推進等を図る中で、地域の中で直営等基幹となるセンターや機能強化型のセンターを位置付けるなど、センター間の役割分担・連携を強化し、効果的かつ効果的な運営を目指す。



行政との役割分担・連携強化

- 委託型センターに対して、市町村が提示する委託方針について、より具体的な内容を提示することを推進。
- これにより、市町村との役割分担、それぞれのセンターが担うべき業務内容を明確化。



効果的な運営の継続

PDCAを充実

- センターがより充実した機能を果たしていくには、運営に対する評価が必要。(現在、約3割の市町村が評価を実施)
- 市町村運営協議会等による評価の取組、PDCAの充実等、継続的な評価・点検の取組を強化。  
併せて、情報公表制度を活用し、センターの取組について周知する。

# 丸森町地域包括支援センターの “愛称”を募集します！

地域包括支援センターは、高齢者が住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活が継続できるように、介護や福祉など、様々な面から総合的に支援する相談窓口です。

丸森町地域包括支援センターでは、より身近な相談窓口となるように、わかりやすく、親しみやすい愛称を募集します。

## 応募条件

- ・未公表でオリジナルのもの
- ・丸森町のイメージ向上につながるもの
- ・どの世代の人にも親しみやすく覚えやすいもの

## 応募方法

### ■持参、郵送もしくはFAXでの応募の場合

- ・裏面の応募用紙に必要事項を記入し、応募してください。
- ・住所、氏名、年齢、電話番号、職業を記載した用紙（自由な様式・はがき等）での応募も可能です。

### ■インターネットでの応募の場合

- ・丸森町ホームページのトップページにある「お知らせ」や「新着情報」から愛称募集専用ページにアクセスできます。また、下記のQRコードからも愛称募集専用ページへアクセスできます。

※1人何点でも応募可能ですが、応募用紙等1通につき1点とします。

■募集期間：令和元年9月2日（月）から令和元年10月31日（木）まで（当日消印有効）

■結果発表：令和2年4月に広報誌、ホームページ及びチラシで公表します。

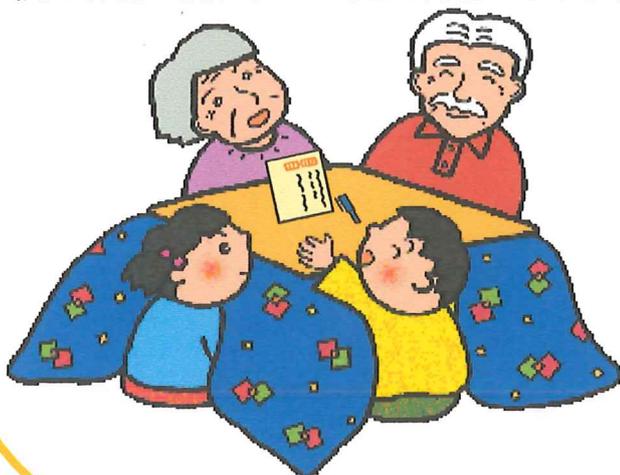
## 特典

採用された方には、やまゆり商品券（30,000円分）を贈呈します。

（同じ作品が複数あった場合は分配となります。）

## 応募資格

- ・町内にお住まいの方
  - ・町内に勤務（通学）されている方
- ※グループでの応募は不可です。



## 応募及び問い合わせ先

〒981-2192  
宮城県伊具郡丸森町字鳥屋 120 番地  
丸森町保健福祉課 地域包括支援班  
TEL 0224-72-3023  
FAX 0224-87-7189  
町ホームページ

<http://www.town.marumori.miyagi.jp/>

## 愛媛県八幡浜市HPより抜粋

## 〇セカンドブック事業について

ブックスタートのフォローアップ事業として、2019年4月の3歳児検診より開始しました。

ブックスタートから成長し、絵本との関わり合いもかわりつつある時期に再度年齢にあった絵本をプレゼントすることで、親子の触れ合いをさらに深めるだけでなく、読書習慣づけのきっかけづくりをします。  
未来をになう子どもによりそう図書館事業です。

今年度は下の5冊の中から好きな本を1冊プレゼントしています

タイトル	著者名	出版社
だるまちゃんとてんぐちゃん	加古里子〃さく・え	福音館書店
にんじんとごぼうとだいこん	和歌山静子〃絵	鈴木出版
ちよっとだけ	瀧村有子〃さく 鈴木永子〃え	福音館書店
おいしそうなしろくま	柴田ケイコ〃さく・え	PHP研究所
ぼつぼつぼつだいじょうぶ?	しもかわらゆみ〃作	講談社

## 古賀市HPより抜粋

## セカンドブック事業が始まりました

平成28年度の新事業として、3歳児への絵本の配布を始めました。

平成28年4月2日以降に3歳の誕生日を迎えるお子さんに、5種類の絵本の中から1冊差し上げます。

3歳ごろは、人生の中で最も絵本を楽しむことができる「読み聞かせ黄金期」と言われています。家庭での読み聞かせをとおして、心豊かな時間を過ごし、お子さんの言葉や心を育てる機会となれば幸いです。

『セカンドブックのお知らせ・引換券』は、3歳児検診のご案内に同封しています。下記の要領で、セカンドブックおはなし会にご参加し絵本をお受け取りください。

お知らせが届いた人は、必要事項を記入した「セカンドブック引換券」を持って、セカンドブックおはなし会にご参加ください。（おはなし会は20分程度です）

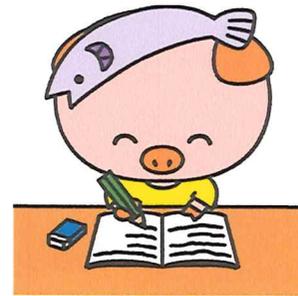
おはなし会の後、5種類の絵本の中なら1冊の絵本と読み聞かせのしおりを差し上げます。ぜひ親子でご参加ください。

※引換機関…3歳児検診後から4歳の誕生日まで

## つうちょうのつかいかた

このつうちょうには、あなたがよんだ<sup>ほん</sup>本をきろくできます。  
たくさん<sup>ほん</sup>本をよんで、ここにすてきなちよきんをしてください。

- 1 本をよんだら、よみおわった日、本のなまえをかこう。
- 2 「ひとこと」には、<sup>ほん</sup>本をかいたひとや、かんそうなどをかこう。
- 3 いっぱいになったら、ちゅうおうとしょかんの3かいのカウンターや、わかあゆごうなどで、あゆコロちゃんスタンプをおしてもらおう！



	よんだ日	本のなまえ	ひとこと
1	8月1日	おさるのまいにち	おさるだいすき
2	8月2日	11ぴきのねことあほうどり	コロケたべたい

..... たにおり .....

おめでとう！ 20さつ！ よめたね！

## ひょうしょうじょう

あなたは、どくしょつうちょうに  
20さつの<sup>ほん</sup>本を、きろくされましたので  
ここにそのどりよくをひょうしょう  
します。

これからもたくさん<sup>ほん</sup>本をよんで  
くださいね。

へいせい ねん がつ にち  
あつぎしりつちゅうおうとしょかん

あつぎしりつちゅうおうとしょかん



あつぎしりつちゅうおうとしょかん  
なまえ

..... やまおり .....

毎月第3水曜日は  
あつぎ家庭読書の日



あつぎしりつちゅうおうとしょかん でんわ (046) 223-0033

神奈川県厚木市HPより抜粋